



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場取引所 東大

上場会社名 宝ホールディングス株式会社

コード番号 2531 URL <http://www.takara.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大宮 久

問合せ先責任者 (役職名) IR室長

(氏名) 掛見 卓也

TEL 075-241-5124

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	48,866	9.7	1,664	49.7	1,887	61.7	499	39.8
23年3月期第1四半期	44,554	△0.7	1,111	17.0	1,167	△1.1	357	△34.8

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,049百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △1,491百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	2.40	2.40
23年3月期第1四半期	1.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	192,664	106,208	48.5
23年3月期	192,448	106,895	49.0

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 93,394百万円 23年3月期 94,308百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	8.50	8.50
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	8.50	8.50

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	94,500	3.3	2,300	△29.2	2,400	△25.8	900	△34.7	4.33
通期	197,300	4.0	8,400	0.8	8,700	3.2	4,000	5.6	19.26

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	217,699,743 株	23年3月期	217,699,743 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	10,075,013 株	23年3月期	10,069,310 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	207,627,319 株	23年3月期1Q	208,948,676 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成23年5月10日発表の連結業績予想の見直しは行っておりません。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
決算補足説明資料は平成23年7月29日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災による直接的な被害に加え、原子力発電所の事故による放射能汚染の問題、さらにはそこから波及した全国的な電力供給体制への不安により、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループにとりましても、震災による直接的な損失に加え、資材調達、生産体制の確保、物流など各方面での影響がありました。このような状況のなか、当社グループは、消費者の皆さまへの安全で良質な製品の安定供給を第一と考え、生産・供給体制の整備に注力いたしました。この結果、当第1四半期の連結売上高は、前年同期比109.7%の48,866百万円となり、営業利益も同149.7%の1,664百万円と増収増益となりました。

営業外損益でも昨年の社債発行費がなくなったことにより営業外費用が減少し、経常利益も前年同期比161.7%の1,887百万円と増益となりました。特別損益では被災製品の廃棄・評価損などで「災害による損失」701百万円を追加計上いたしましたので、税金等調整前四半期純利益は前年同期比97.0%の1,085百万円となりました。一方、税金費用は、前年の資産除去債務に関連する損失に税効果が計上出来なかった裏返しで減少したため、四半期純利益は前年同期比139.8%の499百万円となりました。

セグメントの業績の概要は次のとおりであります。

[宝酒造グループ]

当セグメントの中核企業である宝酒造株式会社では、震災により物流拠点は大きな被害を受けたものの、製造設備への被害は比較的軽微でありましたので、資材調達や、電力不安への対応を急ぎ、生産・供給体制は早期に復旧いたしました。また物流拠点の被害に関しても、代替の物流網を早期に整備し、製品の安定供給に全力で取り組みました。この結果、震災直後の混乱により前期末に出荷不能であった製品の出荷も含め、当セグメント全体の売上高は、前年同期比111.0%の44,118百万円となりました。

品種別には「焼酎ハイボール」が引き続き好調に推移するとともに、本年3月にリニューアルした「直搾り」が伸びました。ソフトアルコール飲料が大幅に増加いたしました。また焼酎、清酒、その他の酒類および原料用アルコール等もそれぞれ好調に推移するとともに、前年第2四半期より損益を連結したFOODEX S. A. S. (仏国)の売上高も当セグメントの増収の要因となりました。

利益面では、売上の増加につれ売上総利益も前年同期比110.7%の16,278百万円となりました。また販売費及び一般管理費は、震災により被害を受けた物流拠点に対する代替措置によるコストアップがあったことなどにより前年同期比107.7%の14,781百万円と増加いたしました。以上の結果、当セグメントの営業利益は前年同期比153.6%の1,496百万円となりました。

[タカラバイオグループ]

当セグメントの売上高は、遺伝子工学研究事業における理化学機器が好調に推移したこと等により、前年同期比101.4%の3,823百万円となりました。売上原価は、品目別の原価率の違いにより前年同期比104.7%の1,683百万円となりましたので、売上総利益は前年同期比98.9%の2,140百万円となりました。販売費及び一般管理費は、運送費や研究開発費等の増加、人件費等の減少により前年同期比99.6%の2,188百万円となりましたが、営業損失は48百万円(前年同期比15百万円減益)となりました。

[宝ヘルスケア]

当セグメントの売上高は、フコイダン関連製品は増加いたしました。お茶飲料が減少したため前年同期比88.7%の615百万円と減収となりました。利益面では、利益率の高いフコイダン関連製品が増加したため、売上総利益は前年同期比104.4%の209百万円となりました。販売費及び一般管理費は、引き続き事業育成のための広告宣伝費を先行的に投下しているため営業損失43百万円を計上しておりますが、損失は前年同期より28百万円減少いたしました。

[その他]

報告セグメント以外のその他のセグメントの売上高は、前年同期比97.5%の1,833百万円と減収となりましたが、販売費及び一般管理費の削減により営業利益は、前年同期比293.3%の13百万円となりました。

品種別販売実績

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	前年同期比
品種	金額 (百万円)	(%)
宝酒造グループ		
焼酎	19,650	103.8
清酒	3,829	102.9
ソフトアルコール飲料	7,543	141.7
その他酒類	2,631	107.8
酒類計	33,654	110.6
本みりん	3,430	97.3
その他調味料	1,762	104.6
調味料計	5,193	99.7
原料用アルコール等	1,677	117.4
物流	2,136	96.8
その他	1,455	316.7
計	44,118	111.0
タカラバイオグループ	3,823	101.4
宝ヘルスケア	615	88.7
その他	1,833	97.5
事業セグメントに配分していない 売上およびセグメント間取引消去	△1,524	—
合計	48,866	109.7

(注) 金額には酒税を含んでおりますが、消費税等は含まれておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、流動資産が1,231百万円増加し、固定資産が1,016百万円減少したため前連結会計年度末とほぼ同じ192,664百万円となりました。増減の主な内容は配当や納税による現金及び預金の減少や、売上の増加による受取手形及び売掛金の増加などです。

負債合計も、支払手形及び買掛金の増加や賞与引当金の増加などがありましたが、未払酒税や未払法人税等の減少により、ほぼ前連結会計年度末と同水準の86,455百万円となりました。

純資産合計も、配当による利益剰余金の減少はありましたが、前連結会計年度末とほぼ同水準の106,208百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高、営業利益及び経常利益ともに期初の計画を上回る進捗となっておりますが、震災後の市場動向の変化や、原材料価格高騰の影響が予測しづらいこともあり、平成23年5月10日に公表した連結業績予想は見直しておりません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,782	29,398
受取手形及び売掛金	45,102	49,093
有価証券	12,665	11,175
商品及び製品	20,552	21,905
仕掛品	964	833
原材料及び貯蔵品	2,782	2,552
その他	4,940	6,066
貸倒引当金	△81	△85
流動資産合計	119,707	120,938
固定資産		
有形固定資産	41,645	41,245
無形固定資産		
のれん	4,017	4,200
その他	2,010	1,954
無形固定資産合計	6,028	6,154
投資その他の資産		
投資有価証券	18,527	17,876
その他	6,786	6,699
貸倒引当金	△246	△250
投資その他の資産合計	25,067	24,325
固定資産合計	72,741	71,725
資産合計	192,448	192,664
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,489	14,780
短期借入金	5,182	5,097
未払酒税	8,065	7,128
未払費用	3,592	3,054
未払法人税等	1,785	936
賞与引当金	2,012	3,110
その他の引当金	1,781	2,116
その他	5,541	6,214
流動負債合計	41,453	42,438
固定負債		
社債	25,000	25,000
長期借入金	561	556
退職給付引当金	9,644	9,603
長期預り金	6,119	6,061
その他	2,774	2,795
固定負債合計	44,100	44,017
負債合計	85,553	86,455

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	3,197	3,197
利益剰余金	85,784	84,516
自己株式	△5,852	△5,854
株主資本合計	96,356	95,086
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,754	2,361
繰延ヘッジ損益	△32	△30
為替換算調整勘定	△4,770	△4,022
その他の包括利益累計額合計	△2,048	△1,691
少数株主持分	12,587	12,814
純資産合計	106,895	106,208
負債純資産合計	192,448	192,664

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	44,554	48,866
売上原価	27,234	30,007
売上総利益	17,319	18,859
販売費及び一般管理費	16,207	17,194
営業利益	1,111	1,664
営業外収益		
受取配当金	193	199
その他	138	193
営業外収益合計	331	392
営業外費用		
支払利息	148	126
社債発行費	76	—
その他	51	42
営業外費用合計	276	168
経常利益	1,167	1,887
特別利益		
固定資産売却益	10	7
投資有価証券売却益	412	—
その他	3	—
特別利益合計	427	7
特別損失		
災害による損失	—	701
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	424	—
その他	51	108
特別損失合計	476	809
税金等調整前四半期純利益	1,118	1,085
法人税、住民税及び事業税	1,081	890
法人税等調整額	△252	△334
法人税等合計	829	555
少数株主損益調整前四半期純利益	289	529
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△67	30
四半期純利益	357	499

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	289	529
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,730	△381
繰延ヘッジ損益	△32	2
為替換算調整勘定	△15	904
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△5
その他の包括利益合計	△1,781	519
四半期包括利益	△1,491	1,049
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,422	855
少数株主に係る四半期包括利益	△69	193

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造 グループ	タカラバ イオグル ープ	宝ヘルス ケア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	39,461	3,640	692	43,794	672	44,467	87	44,554
セグメント間の内部 売上高又は振替高	266	132	0	399	1,208	1,608	△1,608	—
計	39,728	3,772	693	44,194	1,881	46,075	△1,521	44,554
セグメント利益又は損 失(△)	166	△234	△72	△141	△7	△148	505	357

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機能会社グループを含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益には、セグメント間取引消去81百万円、事業セグメントに配分していない損益424百万円(主として持株会社である当社の損益)が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の四半期純利益と調整を行っております。

なお、通期の業績管理を営業利益ベースで行っていること、また、2011年4月に公表した「TaKaRaグループ中期経営計画2013」において、目標とする利益指標を「連結営業利益」としたこと、セグメント利益を営業利益ベースとする方が投資家等により有用な情報を提供できると判断し、前連結会計年度末より営業利益をセグメント利益としております。この変更により、前第1四半期連結累計期間のセグメント利益を営業利益ベースで作成し直した数値は以下のとおりであります。

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	宝酒造 グループ	タカラバ イオグル ープ	宝ヘルス ケア	計				
セグメント利益又は損 失(△)	974	△32	△72	869	4	874	237	1,111

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機能会社グループを含んでおります。

2. 調整額の主な内容は、セグメント間取引消去73百万円、のれんの償却額△19百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益183百万円であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「宝酒造グループ」セグメントにおいて、新たに連結子会社としたFOODEX S. A. S. の株式取得に伴い、のれんが2,945百万円増加しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造 グループ	タカラバ イオグル ープ	宝ヘルス ケア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	43,864	3,728	614	48,207	574	48,781	84	48,866
セグメント間の内部 売上高又は振替高	253	95	1	349	1,259	1,608	△1,608	—
計	44,118	3,823	615	48,556	1,833	50,390	△1,524	48,866
セグメント利益又は損 失 (△)	1,496	△48	△43	1,405	13	1,418	245	1,664

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機能会社グループを含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益には、セグメント間取引消去33百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益212百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。